

10月16日（水）「6年 平和への願いを込めて 幼稚園での折り鶴作り」

10月16日（水）に、幼稚園で6年生と一緒に折り鶴作りをしました。幼稚園のみんなが、丁寧に心をこめて折ってくれました。

折り鶴が折られ始めたのは、2歳の時に原爆で被爆し、12歳で亡くなった佐々木禎子さんのお話からです。入院中に禎子さんは「おりがみで千羽鶴を折れば元気になる」と信じて鶴を折り始めました。しかし、その思いは届きませんでした。それ以来、禎子さんと折り鶴は、平和の象徴として、深く人々の心に刻まれ、今も平和記念公園にある禎子さんの像には、日本全国や世界各国から折り鶴が届き続けています。作った折り鶴は、小学校の分も含めて10月末に、広島平和記念公園に持って行きます。みんなの平和への祈りが込められた大切な折り鶴です。

